

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	学校法人 三幸学園 横浜リゾートアンドスポーツ専門学校
設置者名	理事長 昼間 一彦

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
文化教養	スポーツトレーナー科	夜・通信	196	6	
	健康スポーツ科	夜・通信	200	6	
文化教養	アスレティックトレーナー科	夜・通信	161	9	
	スポーツ保育科	夜・通信	121	9	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

「実務経験のある教員等による授業科目一覧表」を職員室に設置し、広く一般に公開

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	学校法人 三幸学園 横浜リゾートアンドスポーツ専門学校
設置者名	理事長 昼間 一彦

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/9.pdf>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	弁護士	H28.4.1 ~ R2.3.31	法務
非常勤	公認会計士	H29.4.1 ~ R2.3.31	財務
非常勤	弁護士	H29.6.1 ~ R3.5.31	法務
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	学校法人 三幸学園 横浜リゾート&スポーツ専門学校
設置者名	理事長 昼間 一彦

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>法人統一の「シラバス作成ガイドライン」にのっとり作成する。作成にあたっては生徒より取得する授業評価アンケートをもとに毎年度改善を図り、2月を目途に実施される教員会議において連携科目間の調整を行っている。</p> <p>原則として法人統一の様式を使用し、客観的に分かりやすい「授業計画」「到達目標」「成績評価基準」を作成・公表している。</p> <p>公表はインターネットによる他、授業内で当該生徒へ説明する。また、習熟度等に応じて授業計画が変更される場合は、都度説明を行うものとする。(公表の時期は毎年度4月を目途とする)</p>	
授業計画書の公表方法	https://www.sanko.ac.jp/yokohama-sports/pdf/course_yokohama.pdf
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>教務規程に基づき、各学生の学習成果(試験、レポートの他、平素の履修状況等)を総合的に勘案し評価を行うものとする。</p> <p>科目ごとにシラバスにあらかじめ定められた評価基準に基づき100点法で素点を出し、それを20で割り四捨五入した5点法に換算する。</p> <p>なお、出席がシラバスに定められた規定時間数に達しないものについては不良科目とみなし、成績評価は1とする。</p>	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)
全履修科目の評定(5点法で示されたもの)の和を科目数で除したものを「評定平均」とし、年に2回(期末ごとに)一覧管理を行うことで、成績の分布状況を把握する。

客観的な指標の
算出方法の公表方法

https://www.sanko.ac.jp/yokohama-sports/pdf/school_information.pdf

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)
本校に修業年限以上在籍し、所定の単位を修得し校長に卒業を認められた者に卒業の認定を行う。卒業に必要な単位数は科目配当表に示す通りとする。
なお、卒業を認める者については過程において設定した目指すべき人材像を満たすことを求める。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

https://www.sanko.ac.jp/yokohama-sports/pdf/school_information.pdf

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	学校法人 三幸学園 横浜リゾート&スポーツ専門学校
設置者名	理事長 昼間 一彦

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/9.pdf
収支計算書又は損益計算書	https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/9.pdf
財産目録	https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/9.pdf
事業報告書	https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/9.pdf
監事による監査報告（書）	https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/9.pdf

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養		専門過程	スポーツトレーナー科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	495 単位時間 / 22 単位	1020 単位 時間 / 68 単位	135 単位 時間 / 5 単位	372 単位 時間 / 12 単位	0 単位時 間 / 0 単位	1590 単位 時間 / 52 単位
			単位時間 / 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160 人		351 人	0 人	18 人	83 人	101 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

<p>（概要） 授業計画については、法人統一の「シラバス作成ガイドライン」にのっとり作成する。作成にあたっては生徒より取得する授業評価アンケートをもとに毎年度改善を図り、2月を目途に実施される教員会議において連携科目間の調整を行っている。</p>
<p>成績評価の基準・方法</p> <p>（概要） 教務規程に基づき、各学生の学習成果（試験、レポートの他、平素の履修状況等）を総合的に勘案し評価を行うものとする。 科目ごとにシラバスにあらかじめ定められた評価基準に基づき 100 点法で素点を出し、それを 20 で割り四捨五入した 5 点法に換算する。 なお、出席がシラバスに定められた規定時間数に達しないものについては不良科目とみなし、成績評価は 1 とする。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>（概要） 本校に修業年限以上在籍し、所定の単位を修得し校長に卒業を認められた者に卒業の認定を行う。卒業に必要な単位数は科目配当表に示す通りとする。</p> <p><目指すべき人材像></p>

スポーツを通じて健康と楽しさを提供する人材を育成する。
学修支援等
(概要) クラス担任制をとり、本人および保護者との電話連絡ならびに三者面談を実施し、常に状況の確認を行う。また担任のみならず、カウンセリングルームの紹介など、学校にかかわる全教職員でのサポート体制を敷いている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
108人 (100%)	1人 (0.1%)	107人 (99.1%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) スポーツ業界			
(就職指導内容) 学内就職決起大会 校内企業説明会			
(主な学修成果(資格・検定等)) (公財)日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
283人	26人	9.2%
(中途退学の主な理由) 目標喪失による進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 定期的な面談の実施、欠席時の後追い連絡、保護者との面談		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化教養	専門過程	健康スポーツ科	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	240単位時間/12単位	1890単位 時間/126 単位	150単位 時間/6単 位	534単位 時間/17 単位	0単位時 間/0単位	1590単位 時間/51 単位
			単位時間/単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
160人	175人	0人	18人	83人	101人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業計画については、法人統一の「シラバス作成ガイドライン」にのっとり作成する。作成にあたっては生徒より取得する授業評価アンケートをもとに毎年度改善を図り、2月を目途に実施される教員会議において連携科目間の調整を行っている。
成績評価の基準・方法
（概要） 教務規程に基づき、各学生の学習成果（試験、レポートの他、平素の履修状況等）を総合的に勘案し評価を行うものとする。 科目ごとにシラバスにあらかじめ定められた評価基準に基づき 100 点法で素点を出し、それを 20 で割り四捨五入した 5 点法に換算する。 なお、出席がシラバスに定められた規定時間数に達しないものについては不良科目とみなし、成績評価は 1 とする。
卒業・進級の認定基準
（概要） 本校に修業年限以上在籍し、所定の単位を修得し校長に卒業を認められた者に卒業の認定を行う。卒業に必要な単位数は科目配当表に示す通りとする。 <目指すべき人材像> スポーツを通じて健康と楽しさを提供する人材を育成する。
学修支援等
（概要） クラス担任制をとり、本人および保護者との電話連絡ならびに三者面談を実施し、常に状況の確認を行う。また担任のみならず、カウンセリングルームの紹介など、学校にかかわる全教職員でのサポート体制を敷いている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
63人 (100%)	1人 (1.6%)	62人 (98.4%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） スポーツ業界			
（就職指導内容） 学内就職決起大会 校内企業説明会			
（主な学修成果（資格・検定等）） (公財)健康・体力づくり事業財団 健康運動実践指導者			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
137人	6人	4.4%
(中途退学の主な理由) 目標喪失による進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 定期的な面談の実施、欠席時の後追い連絡、保護者との面談		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化教養	専門過程	アスレティックトレーナー科	○				
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	315 単位時間 / 15 単位	1650 単位時間 / 110 単位	150 単位時間 / 5 単位	240 単位時間 / 7 単位	0 単位時間 / 0 単位	1170 単位時間 / 39 単位
		単位時間 / 単位					
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
120人	74人	0人	18人	83人	101人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 授業計画については、法人統一の「シラバス作成ガイドライン」にのっとり作成する。作成にあたっては生徒より取得する授業評価アンケートをもとに毎年度改善を図り、2月を目途に実施される教員会議において連携科目間の調整を行っている。
成績評価の基準・方法
(概要) 教務規程に基づき、各学生の学習成果(試験、レポートの他、平素の履修状況等)を総合的に勘案し評価を行うものとする。 科目ごとにシラバスにあらかじめ定められた評価基準に基づき 100 点法で素点を出し、それを 20 で割り四捨五入した 5 点法に換算する。 なお、出席がシラバスに定められた規定時間数に達しないものについては不良科目とみなし、成績評価は 1 とする。
卒業・進級の認定基準
(概要) 本校に修業年限以上在籍し、所定の単位を修得し校長に卒業を認められた者に卒業の認定を行う。卒業に必要な単位数は科目配当表に示す通りとする。
<目指すべき人材像> スポーツを通じて健康と楽しさを提供する人材を育成する。

学修支援等 (概要) クラス担任制をとり、本人および保護者との電話連絡ならびに三者面談を実施し、常に状況の確認を行う。また担任のみならず、カウンセリングルームの紹介など、学校にかかわる全教職員でのサポート体制を敷いている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
11人 (100%)	0人 (0.1%)	11人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) スポーツ業界			
(就職指導内容) 学内就職決起大会 校内企業説明会			
(主な学修成果(資格・検定等)) (公財)日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
53人	4人	7.5%
(中途退学の主な理由) 目標喪失による進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 定期的な面談の実施、欠席時の後追い連絡、保護者との面談		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化教養	専門過程	スポーツ保育科	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	330 単位時間/14 単位	1095 単位 時間/73 単位	315 単位 時間/11 単位	480 単位 時間/15 単位	0 単位時 間/0 単位	660 単位 時間/22 単位
単位時間/単位							

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
120人	74人	0人	18人	83人	101人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業計画については、法人統一の「シラバス作成ガイドライン」にのっとり作成する。作成にあたっては生徒より取得する授業評価アンケートをもとに毎年度改善を図り、2月を目途に実施される教員会議において連携科目間の調整を行っている。
成績評価の基準・方法
（概要） 教務規程に基づき、各学生の学習成果（試験、レポートの他、平素の履修状況等）を総合的に勘案し評価を行うものとする。 科目ごとにシラバスにあらかじめ定められた評価基準に基づき 100 点法で素点を出し、それを 20 で割り四捨五入した 5 点法に換算する。 なお、出席がシラバスに定められた規定時間数に達しないものについては不良科目とみなし、成績評価は 1 とする。
卒業・進級の認定基準
（概要） 本校に修業年限以上在籍し、所定の単位を修得し校長に卒業を認められた者に卒業の認定を行う。卒業に必要な単位数は科目配当表に示す通りとする。 <目指すべき人材像> スポーツを通じて健康と楽しさを提供する人材を育成する。
学修支援等
（概要） クラス担任制をとり、本人および保護者との電話連絡ならびに三者面談を実施し、常に状況の確認を行う。また担任のみならず、カウンセリングルームの紹介など、学校にかかわる全教職員でのサポート体制を敷いている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
20人 (100%)	0人 (0%)	20人 (100%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） 幼稚園、保育業界			
（就職指導内容） 学内就職決起大会 校内企業説明会			
（主な学修成果（資格・検定等）） 【厚生労働省 保育士】【文部科学省 幼稚園教諭二種免許状】			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
63人	1人	1.6%
(中途退学の主な理由) 目標喪失による進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 定期的な面談の実施、欠席時の後追い連絡、保護者との面談		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
アスレティック トレーナー科	100,000円	800,000円	500,000円	その他：施設設備費・教材費
スポーツ 保育科	100,000円	750,000円	600,000円	その他：施設設備費・教材費
スポーツ トレーナー科	100,000円	800,000円	500,000円	その他：施設設備費・教材費
健康スポーツ科	100,000円	800,000円	600,000円	その他：施設設備費・教材費
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.sanko.ac.jp/yokohama-sports/pdf/kankeisyahyouka_yokohama.pdf
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 学校関係者として、関連分野の業界関係者及び卒業生、地域に根差した関連企業と共に、学校関係者評価委員会を設置して、教育目標や教育について評価し、その評価結果を次年度の教育活動および学校運営の改善の参考とする。 学校関係者評価は、「専修学校における学校評価のガイドライン」の評価項目を使用して実施した自己点検・自己評価の結果を基に「実施することを基本方針とする。また評価結果は学校のホームページで公表し、委員会で得られた意見についてはすみやかに集約し、各業務担当者にフィードバックすることで、学校運営の改善に生かすものとする。
【学校評価の評価項目】

(1)教育理念・目標

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	

(2)学校運営

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	
運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	
人事、給与に関する制度は整備されているか	
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	

(3)教育活動

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	
目標の設定として、教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	
関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	
授業評価の実施・評価体制はあるか	
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	
資格（免許）取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保し、組織できて	

いるか	
関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	
職員の能力開発のための研修等が行われているか	

(4)学修成果

【評価項目】(評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1)	評価
就職率の向上が図られているか	
資格(免許)取得率の向上が図られているか	
退学率の低減が図られているか	
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	

(5)学生支援

【評価項目】(評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1)	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	
学生相談に関する体制は整備されているか	
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	
課外活動に対する支援体制は整備されているか	
学生の生活環境への支援は行われているか	
保護者と適切に連携しているか	
卒業生への支援体制はあるか	
中途退学者への支援体制はあるか	
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	

(6)教育環境

【評価項目】(評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1)	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	
学内外の実習施設,インターンシップ,海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	
防災・安全管理に対する体制は整備されているか	

(7)学生の受入れ募集

【評価項目】(評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1)	評価
学生募集活動は、適正に行われているか	
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	
入学選考は、適性に行われているか	

学納金は妥当なものとなっているか	
------------------	--

(8)財務

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	
財務について会計監査が適正に行われているか	
財務情報公開の体制整備はできているか	

(9)法令等の遵守

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
関係法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	
自己評価結果を公開しているか	

(10)社会貢献・地域貢献

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	

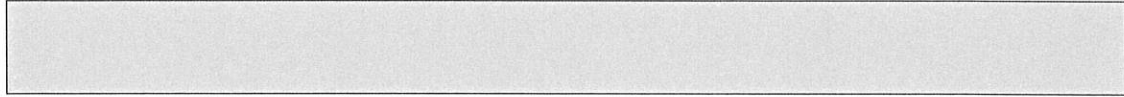
学校関係者評価の委員

所属	任期	種別
株式会社 ルネサンス	H31. 4. 1～R2. 3. 31	企業等役員
有限責任事業組合 オフィス園山	H31. 4. 1～R2. 3. 31	企業等役員
高田 隼也	H31. 4. 1～R2. 3. 31	卒業生
山口 千代子	H31. 4. 1～R2. 3. 31	近隣住民

学校関係者評価結果の公表方法

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）
https://www.sanko.ac.jp/yokohama-sports/pdf/kankeisyahyouka_yokohama.pdf

第三者による学校評価（任意記載事項）



c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

<https://www.sanko.ac.jp/yokohama-sports/>